

おうめ 市議会だより

No. 245
平成31年(2019年)4月30日
発行/青梅市議会
電話番号/0428-22-1111(代)

主な内容	
平成31年2月定例会のあらまし	… 1
市長提出議案の主な内容	
平成31年度予算の概要	… 2・3
一般質問	… 4～7
市議会の4年間	… 6・7
審議された議案と議決結果	… 8
請願・陳情の審議結果	

平成30年青梅市議会定例会 平成31年2月定例会

平成31年度予算全会計を可決しました … 一般会計当初予算は、前年度比0.4%・2億円の増 …



ネッツたまぐーセンター（青梅市文化交流センター）：4月13日(土)に落成式、4月24日(水)～28日(日)にオープニングイベントが行われ、5月7日(火)にオープンする。市民の文化活動、生涯学習活動および地域交流の場となるとともに、子育てひろば事業も行われる。

任期最後の定例会

平成31年2月定例会は、2月20日から3月25日までの34日間の期間で開催されました。初日の本会議では、市長の施政方針演説を聴取した後、議案審議が行われました。
一般質問は、3月6日、7日および8日の3日間にわたって行われ、16人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました（4～7面に要旨を掲載）。
今定例会に上程された市長提出議案は、当初予算7件、補正予算7件、条例8件、その他12件の全34件、委員会提出議案は、条例1件で、いずれも原案どおり可決または同意されました（8面を参照）。

市長提出議案の主な内容

- 平成31年度青梅市一般会計予算（2・3面へ）
- 平成30年度青梅市一般会計補正予算（第4号）
歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ2億686万円の総額を歳入歳出それぞれ5億3754万円とするほか繰越明許費を6件追加、市債を5件補正しようとするもの。

- 青梅市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例（施行日〓平成31年4月1日）
建築基準法第68条の2第1項の規定にもとづき、地区計画の区域内における建築物に関する制限を定めることにより、適正かつ合理的な土地利用を図り、もって良好な都市環境を確保することを目的に、必要な事項を定めようとするもの。
〔制定の内容〕
第1条では目的を定め、第2条では条例において使用する用語を定義し、第3条では適用区域を定める。第4条では用途の制限を、第5条では容積率を、第6条では建ぺい率の最高限度を、第7条では建築面積の最低限度を、第8条では壁面の位置の制限について、それぞれ定める。第9条では建築物の敷地が地区整備計画区域の内外にわたる場合等の措置を、第10条では公益上必要な建築物の特例を、第11条では既存の建築物に対する制限の緩和を、第12条では条例施行規

則への委任を、第13条では罰則について定める。

- 青梅市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例（施行日〓平成31年4月1日）
青梅市立総合病院における近年の入院患者数の動向を踏まえ、一般病床の数を改めようとするもの。
〔改正の内容〕
一般病床の数を「508床」から「475床」に改める。

- 青梅市いじめの防止に関する条例の一部を改正する条例（施行日〓平成31年4月1日）
重大事態への対処方法の見直しに伴い、報告先に青梅市議会を追加しようとするもの。
〔改正の内容〕
重大事態が発生したときの報告先に、青梅市議会を追加するほか、所要の規定の整備を行う。

委員会提出議案の内容

- 青梅市議会委員会条例の一部を改正する条例（施行日〓平成31年4月1日）
青梅市組織条例の一部改正に伴い、常任委員会の所管を改めるもの。
〔改正の内容〕
第2条第2項環境建設委員会の項中第6号を第7号とし、第5号を第6号とし第4号の次に（5）拠点整備部の所管に関する事項を加える。



議会日誌

18日	議会運営委員会
〔2月〕	
20日	本会議（開議、市長施政方針演説、議案審議、陳情審議等）
25日	議会運営委員会
28日	環境建設委員会 福祉文教委員会
〔3月〕	
1日	総務企画委員会 福祉文教委員会
5日	予算決算委員会 全員協議会
6日	本会議（一般質問）
7日	本会議（一般質問）
8日	本会議（一般質問）
11日	東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会
12日	議会運営委員会 本会議（委員会議案審査報告、議案審議）
13日	総合病院建替特別委員会 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会
14日	予算決算委員会 総務企画委員会
15日	予算決算委員会 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会
18日	予算決算委員会
19日	予算決算委員会
25日	議会運営委員会 本会議（委員会議案・陳情審査報告―議決、特別委員会中間報告、閉議）
〔4月〕	
4月臨時議会	
10日	議会期間4月10日（1日間） 議会運営委員会 本会議（議案審議等） 総務企画委員会 福祉文教委員会

予算

504億円

～前年度比 0.4%・2億円の増～

*** 一般会計予算の概要 ***

平成31年度予算は、人口減少の進展や急速に進む高齢化、地震や異常気象による自然災害に備えた防災対策など、市政が直面する諸課題に立ち向かい、「訪れたい、暮らしたい、住み続けたい」と思える活力ある「青梅」の実現に邁進する予算として、「総合長期計画等の推進」、「重点事業への取組」、「持続可能な財政運営の確立」の3項目を基本方針として、編成されている。

歳入歳出予算の総額は504億円となり、これは前年度に比べ2億円、0.4%の増となっている。

歳入の根幹をなす市税は、前年度比108万円余の減で200億161万9千円。地方消費税交付金は、前年度と同額の23億8,100万円。地方交付税は、2.0%増の29億9,000万1千円。国庫支出金は、7.5%増の94億2,909万6千円。都支出金は、11.6%増の73億8,187万9千円。繰入金は、公共施設整備基金

および財政調整基金取りくずしの減により、38.5%減の5億3,330万9千円。市債は、新生涯学習施設建設事業債の減などから前年度比8億2千万円余、22.6%減の28億3,630万円となっている。

歳出を性質別に見ると、消費的経費は、前年度比9億5千万円余、2.6%増の377億5,594万9千円。このうち、人件費は、各選挙執行経費等の増などにより、3億円余、4.7%の増。扶助費は、自立支援給付経費の増などにより、1億5千万円余、0.9%の増。投資的経費は、前年度比5億7千万円余、16.5%減の29億758万9千円となっている。主な要因は、文化交流センター建設経費、し尿処理施設整備経費の減などによるものである。なお、特別会計等への繰出金の総額は、前年度比2千2百万円余、0.3%増の67億9,126万9千円となっている。

議案第76号平成31年度青梅市一般会計予算は、議長を除く全議員で構成する予算決算委員会（鴻井伸二委員長、島崎実副委員長）に付託され、3月14日、15日、18日および19日の4日間にわたり審査が行われました。審査は、担当部から補足説明を受けた後、まず歳出について質疑に入りました。続いて歳入についての質疑および総括質疑を行った後、採決した結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。その後、本予算議案は、3月25日の定例議会最終日の本会議において反対討論、賛成討論が行われた後、採決した結果、賛成多数で可決されました。

予算決算委員会での主な質疑

歳出

また、なぜ撤去のみとしたのか。

青梅市公式ホームページについて

答 民有地にあるブロック塀を撤去する際に、工事に要した費用の10分の9の額、ブロック塀の長さ1メートル当たり6000円を乗じた額、または18万円のいずれか少ない額を補助する。ブロック塀の倒壊による危険を減らすことを最優先に考え、撤去にかかる費用のみ補助対象としている。

ホームページのシステム更新について詳細を伺う

答 地域福祉コーディネーターにはどのような目的と役割があるのか。また、今後の配置計画を伺う。

電気自動車の導入について

答 31年度に導入する電気自動車について詳細を伺う

各市民センターに1台ずつ、軽貨物のバンを合計11台購入するとともに充電設備の設置も行う。電気自動車の購入および充電設備の設置には、一般社団法人次世代自動車振興センターによる補助金と東京都の総合交付金の2つの特定財源を使う予定であり、充電設備については2つの補助金で全額賄える。自動車の購入に対し、補助対象となる経費は1台当たり13万6000円の予定である。

高年齢者温泉保養施設利用助成事業について

答 この事業の背景、事業費増額の内容について伺う

企業誘致について

答 企業誘致促進経費の内容と大きく減額となった要因を伺う。また、今後どのように取り組んでいくのか。

ブロック塀等撤去費補助金について

答 市内3カ所の入浴施設の廃止による新たな取り組みで、日帰りの温泉施設の利用回数を一人あたり6回から12回に増やした。昨年度の実績から約2.5倍の利用拡充を見込んでいる。

民生費・衛生費・労働費

答 民生費は、福祉専門職としての知識、能力を備えた地域福祉に精通した者で、個別の課題や地域のニーズを的確に把握し行政や福祉施設と連携、調整しながら福祉課題の解決に導くつなぎ役である。第4期地域福祉計画において平成35（2023）年度までに3人配置する計画となっている。

し尿処理経費の増額の要因を伺う

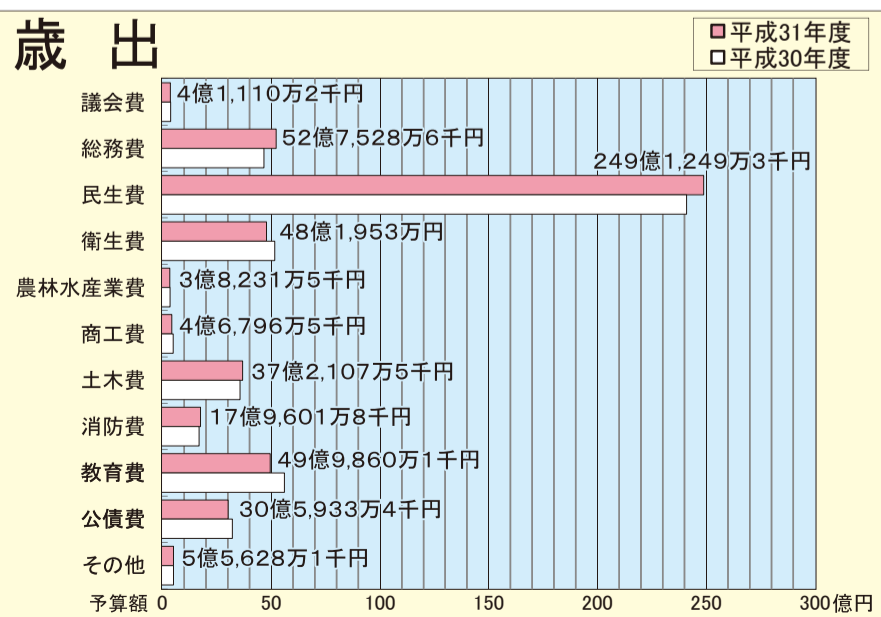
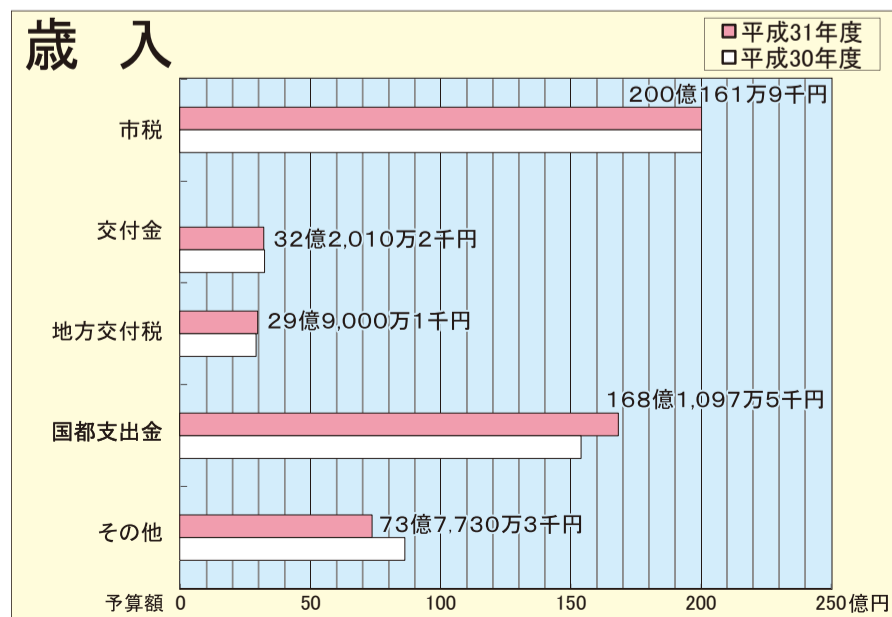
答 31年度から新たに羽村市が加入し、3市1町のし尿および浄化槽汚泥を処理することになり、処理量が増加するため処理経費が増えているということである。

市民農園について

答 駒木町に約19区画の市民農園を設置する予定である。予算の減額は、30年度は3年に一度の農園利用の更新にかかる予算があったため、31年度はその分が減額となっている。

農林水産業費・商工費

答 経費は全額、企業誘致奨励金となっている。企業誘致奨励金は固定資産税等相当額を3年間交付するもので、減額の要因は大きな事業所への交付が終了したためである。今後はホームページで周知するとともに情報収集を行い必要に応じて企業等に出向いて説明していく。



平成31年度 一般会計

◆ 財政の指標

経常収支比率 99.8% (99.2%)
80%を超えないことが望ましいとされている。

実質公債費比率 2.3% (2.7%)
低いほど財政状態が健全なことを意味し、一定の率を超えると、起債発行において制約を受けることになる。

財政力指数 0.867 (0.874)
1を超えるほど財源に余裕がある。

市民1人当たりでは…

予算額 37万7,319円
(37万2,658円)

市税 14万9,742円
(14万8,489円)

()内は前年度数値。 <平成31年4月1日現在>

◆ 各会計の予算額

区分		予算額	
一般会計		504億円	(0.4%)
特別会計	国民健康保険	141億6,900万円	(Δ2.9%)
	下水道事業	43億1,900万円	(Δ11.7%)
	後期高齢者医療	31億2,419万8,000円	(4.6%)
	介護保険	97億40万5,000円	(3.8%)
計		313億1,260万3,000円	(Δ1.6%)
モーターボート競走事業会計	収益	457億9,572万8,000円	(21.2%)
	資本(支出)	3億440万5,000円	(96.3%)
	小計	461億13万3,000円	(21.5%)
病院事業会計	収益	168億8,841万2,000円	(2.8%)
	資本(支出)	21億3,270万5,000円	(44.0%)
	小計	190億2,111万7,000円	(6.2%)
合計		1,468億3,385万3,000円	(6.5%)

※ ()内は前年度比伸び率

教育費

公園トイレの洋式化について
公園管理経費にトイレの洋式化とあるが、具体的な内容を伺う。
答 公園のトイレの便器を洋式化する事業であり、31年度は、大井戸公園、平緑地、早道公園、東原公園球技場、わかぐさ公園野球場にある15基のトイレの和式大便器をすべて洋式化するものである。

学力向上対策について

問 中学3年生対象の学習支援・進路相談について、どのような内容なのか伺う。
答 東京都のスタディ・アシスト事業であり、学習習慣の確立、基礎学力の定着、および希望する進路の実現を目的とした学習支援である。東中学校を除く全中学校において、放課後に補習授業を行っており、指導については、民間の教育事業者に委託している。

放課後子ども教室について

問 新規に吹上小で実施する教室の実施内容と特色ある取り組みについて伺う。
答 子どもたちに安全・安心な遊び場を提供するため、9月から週1回実施を予定している。特色ある取り組みについては、スタッフを揃えてから検討するので詳細は決まっていない。

総合体育館の施設整備について

問 総合体育館の第1スポーツホール等空調設備の

整備について伺う。
答 現在、スポーツホールおよびトレーニングルームには空調設備が設置されていない状況である。スポーツをする機会を安全なものとするため、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるドイツのホストタウンになっていることから、キャンプ誘致が実現した場合、選手のトレーニングの場として提供する必要があるため改修を行うものである。

公債費・諸支出金・予備費

臨時財政対策債について
問 臨時財政対策債について、青梅市は今後も積極的に借りていくのか、抑制していくのか、考え方を伺う。
答 市債の発行を抑制しつつ、一定の行政水準は保つ必要がある。そのため、その時点での歳入、歳出の状況、不足する一般財源の状況等を見ながら判断するものと考えている。

歳入

市税収納率について

問 31年度に見込んだ収納率を確保するための対策と収納機会の拡大について伺う。
答 さらになる収納率の向上を目指すため、30年度の取り組みを継続するとともに効果的、効率的な文書催告を行えるよう実施方法や時期の見直しを検討した。今後も電話催告、臨戸等地道な対応を続け収納率の向上につなげていきたい。収納

機会の拡大については、スマートフォンのアプリ決裁を導入したペイビー(Paybee)の導入を31年5月から予定している。

土地貸付収入について

問 財産収入の中で土地貸付収入があるが、どのような土地の貸し付けなのか。また、貸付料の基準を伺う。
答 主なものは、自治会集会所等の建物敷地、保育園駐車場、総合病院職員駐車場、JA駐車場、資材置き場の一時貸し付け等であり、貸付料については、行政財産使用料条例に基づき、固定資産の評価に用いる標準宅地の価格の1000分の2・5を使用面積にかけて月額単価を算出している。

総括質疑

事業の廃止・縮小について

問 行政改革、財政立て直しのために各種事業の廃止

・縮小もやむを得ないが、市民に大きな誤解が生じたこともあった。事業の廃止・縮小を行う場合のマニュアル等の作成が必要ではないか。
答 公共施設の再編や事務事業の再編を進める中で、市民への説明という部分で反省すべき点もあった。31年度予算を執行していく中で、市全体で判断して進める手法やマニュアル等を検討し構築できればと考えている。

31年度予算の総括

問 極めて厳しい財政状況であるが、第6次青梅市総合長期計画や青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけられた目標の達成に向け、市政を前進させる予算と理解した。改めて、この予算をどう総括するか。
答 今後最も力を注いでいくべき事業として予算編成方針に定めたのが、青梅インターチェンジ北側における物流拠点整備に向けた取



* 平成31年度の主な施策 *

- 総務費
 - *市公式キャラクター(ゆめうめちゃん) 着ぐるみの作製<新規>
 - *AI活用実証実験<新規>
 - *電気自動車の導入(全市民センター)
- 民生費
 - *地域福祉コーディネーターの配置<新規>
 - *障がい者サポートセンター正職員の増員<拡充>
 - *民間保育施設費助成(保育所増設策1施設・新設2施設、幼稚園から認定こども園への移行1施設)
 - *文化交流センター内に子育てひろばを新設<新規>
- 衛生費
 - *産後ケア事業の実施
 - *粗大ごみ運び出しサービスの実施<新規>
 - *リサイクルセンター容器包装プラスチック処理ライン設置工事
- 農林水産業費、商工費
 - *江戸前アユ増殖事業補助<新規>
 - *観光戦略創造プロジェクト事業(観光PR動画の作成等)
 - *おうめひとづくり支援事業補助<新規>
- 土木費
 - *青梅インターチェンジ周辺地区の地籍調査および都市計画道路の調査設計
 - *青梅駅前地区市街地再開発事業(準備組合への補助)
 - *住宅マスタープランの策定(2か年事業2年目)
- 消防費
 - *市民防災ハンドブックの作成
 - *ブロック塀等撤去費補助
- 教育費
 - *学力向上対策事業(学力向上を目的とした放課後・土曜日の補習授業、中学3年生を対象とした学習支援・進路相談)<拡充>
 - *藤橋調理場への学校給食調理作業一本化<新規>
 - *文化交流センターオープニングイベントの実施<新規>



質問

民生児童委員の一斉改選について問う

天沼 明 議員 (自民)

欠員への対応はどうか。
② 東京都の充足に向けた対応は。
③ 12月の一斉改選のスケジュールと変更点を伺う。

④ 選任に向けた市の取り組みは。
⑤ 改選に当たり民生委員の定員充足について市長の決意を伺う。
市長 ① 主任児童委員12人を含め定数151人で、充足率は96%である。欠員地区については、退任した民生委員経験者である協力員や、近隣の委員にフォローしていただくなどして対応している。また、自治会長を訪問し、候補者の紹介について協力依頼を行っている。

「自転車保険」加入の義務化に向けた取り組みについて問う

工藤 浩司 議員 (フォーラム)

議員 ① 複雑化する現代社会にあって、行政と地域社会を結ぶ民生委員の役割は極めて重要である。青梅市における現在の定数および充足率を伺う。また、

② 東京都の充足に向けた対応は。
③ 12月の一斉改選のスケジュールと変更点を伺う。
④ 選任に向けた市の取り組みは。
⑤ 改選に当たり民生委員の定員充足について市長の決意を伺う。
市長 ① 主任児童委員12人を含め定数151人で、充足率は96%である。欠員地区については、退任した民生委員経験者である協力員や、近隣の委員にフォローしていただくなどして対応している。また、自治会長を訪問し、候補者の紹介について協力依頼を行っている。

② 交通安全講習会等で、自転車事故により多額の賠償が発生した事例を周知してきた。今後も運転マナー等の向上を啓発するとともに、事故事例の紹介等を行い、青梅警察署等と協力し保険加入の必要性の周知に努める。
③ 今後も現行の交通安全対策を継続しながら、マナー意識の変化に合わせ取り組み内容も常に見直していく必要がある。また、広報等を通じ、わかりやすく保険の必要性を周知し、安全、安心なまち青梅を目指していく。

議員 ① 自転車保険に関する市の認識、交通事故の現状を伺う。
② これまでの取り組み実績、今後の取り組みについて伺う。
③ 交通安全教育の充実と保険加入に向けた具体的な考えを伺う。
市長 ① 誰もが加害者となる可能性があるため、保険加入の啓

議員名の()内の表示は、会派名または党派名です。
(自 民) …自民クラブ
(公 明) …公明党
(フォーラム) …改革フォーラム
(共 産) …日本共産党青梅市議団
(国 民) …国民民主党
(みどり) …みどりのオンブズマン
(市 民) …市民自治青梅

青梅市における幼児教育・保育の無償化の課題と待機児童対策等の保育行政の今後のあり方について問う

結城 守夫 議員 (公明)

議員 ① 幼児教育・保育無償化の市の財政への影響を伺う。
② 新規認可保育園2園の状況は。
③ 認可について子ども・子育て会議の委員の意見が大きく分かれた。いずれも長年青梅の幼児教育・保育行政を担ってきた方々である。市には周到な計画性と適正な手続をもって保育行政を推進してほしいがどうか。

④ 無償化で軽減された分の財源は少子化対策や子育て支援策に活用すべきと考えるがどうか。
⑤ 人口が集中している東部地区を細分化して分析し、待機児童対策を考えるべきでは。
市長 ① 毎年度約1億8000万円の負担軽減と推計している。② 12月7日の第6回子ども・子育て会議により承認され、21日育を、働き方改革やマスキング効果も含めて研究していく。

③ BGMには、マスキング効果等大きく4つの効果がある。導入について市長の考えを伺う。
市長 ① 笑顔と親切心を心がけるよう指示している。その実現に向け接遇マニュアルの見直しや研修を実施している。
② 平成5年から昼休みにBGMを流していた。来庁者のおもてなしやリラククス効果が図られる一方、声が聞こえづらくなるという懸念もあり、平成9年度をもって廃止した。
③ 必要に応じて他自治体の調査

議員 ① 市民サービス向上に向けた取り組みについて伺う。
② BGMの導入について検討した経過はあるか。
③ BGMには、マスキング効果等大きく4つの効果がある。導入について市長の考えを伺う。
市長 ① 笑顔と親切心を心がけるよう指示している。その実現に向け接遇マニュアルの見直しや研修を実施している。
② 平成5年から昼休みにBGMを流していた。来庁者のおもてなしやリラククス効果が図られる一方、声が聞こえづらくなるという懸念もあり、平成9年度をもって廃止した。
③ 必要に応じて他自治体の調査

議員 ① 青梅ロケーションサービス推進協議会、青梅ロケーションサービスサポーターズの役割、活動、実績について伺う。
② 市の現在の支援状況を伺う。
③ ロケ地マップの作成、配布について市の見解を伺う。
④ サービスの推進を加速する必要があるが、市の考えを伺う。
市長 ① 推進協議会はロケ候補地等の紹介等行うほか、ホーム

に会長より答申をいただいた。市として待機児童がいることや休日保育、病児保育を実施することから2園の新設を承諾した。副市長 ③ 会議の運営に十分配慮するとともに、保育園長会、理事長会、また幼稚園等とも意見交換を行い、連携を強め、保育行政の推進に努めていきたい。
④ 子育て支援に関する施策に有効に活用していきたい。
⑤ 31年度に行う子ども・子育て支援事業計画の改定の中で、子ども・子育て会議に諮っていききたいと考えている。

障がい者交流バスハイク事業について問う

議員 ① バスハイク事業を30年度に廃止した経緯と関係者からの反応を伺う。
② 31年度におけるこの事業への市の考えを伺う。
③ 国や都の補助金を活用し、毎年実施すべきと考えるがどうか。
市長 ① 厳しい財政状況の中で、市の単独事業の見直しにより事業を廃止した。交流する機会が失われたことから、青梅市障害者団体連合会をはじめ多くの関係者から復活を望む声があった。② 多くの要望に応え、他の事業の見直しを行ったうえで、隔年ページでのロケ地紹介等により、サービス普及を図っている。サポーターズは実働部隊として支援を行っている。30年度は1月末現在、相談174件、撮影実績68件である。
② 市施設の撮影では、立ち会いを含め支援するとともに、受け入れも積極的に協力している。
③ 他自治体の成功事例について協議会とともに、研究していく。
④ 今後、青梅独自のロケーションサービスを推進するため、協議会との連携を深め、観光振興はもとより、地域の活性化につなげていきたい。

議員 ① 10連休中の市役所と総合病院の体制を伺う。
議員 ① 10連休中の市役所と総合病院の体制を伺う。

青梅市における外国人の生活保護の実情と今後の対応について問う

島崎 実 議員 (自民)

議員 ① 市内の外国人住民の人数、青梅市と他市の外国人の生活保護の状況を伺う。また、日本人と扱いの違いはあるか。
② 市内外国人の保護率が高い理由、また保護を受けるにいたる由、また保護を受けるにいたる理由をどう分析しているか。
③ 保護率低下に向け、外国人の雇用の推進、その他具体策が必要と考えるがどうか。
市長 ① 市内外国人は1月1日

議員 ① 市内の外国人住民の人数、青梅市と他市の外国人の生活保護の状況を伺う。また、日本人と扱いの違いはあるか。
② 市内外国人の保護率が高い理由、また保護を受けるにいたる由、また保護を受けるにいたる理由をどう分析しているか。
③ 保護率低下に向け、外国人の雇用の推進、その他具体策が必要と考えるがどうか。
市長 ① 市内外国人は1月1日

用語の解説

- 注1…特設公衆電話 (4ページ・島崎議員)
NTT東日本が設置する災害時における非常用通信手段で、被災者の方等が安否確認等の連絡を行う際、通信制限を受けずに、無料で使用することができるもの。
- 注2…デマンドタクシー (5ページ・藤野議員)
予約の入った時のみ運行する乗り合いのタクシー。交通が不便な地域の移動手段として、タクシーよりも安価に利用できる。
- 注3…フレイル (5ページ・山内議員)
加齢とともに運動機能や認知機能等といった心身の活力が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響から、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態。
- 注4…自伐型林業 (6ページ・田中議員)
法人主体ではなく、個人が小規模で行う林業の形。参入障壁が低く、「地域創生の鍵」として期待されている。
- 注5…森林バンク制度 (森林経営管理制度) (7ページ・鴻井議員)
森林所有者の経営管理の責務を明確化するとともに、森林所有者が経営管理できない森林については、市町村が経営管理を行うために、必要な権利を取得した上で、林業経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に委ね管理を行い、林業経営に適さない森林や、林業経営者に委ねるまでの森林においては、市町村自らが経営管理を行う制度。

実施として復活することとした。
副市長 ③ 国、都の地域生活支援事業費等補助金の事業対象となることを確認できたため、申請を行い、毎年度実施する。
本年のゴールデンウィーク10連休の青梅市の対応と今後の日曜日開庁等について伺う
議員 ① 10連休中の市役所と総合病院の体制を伺う。

現在1877人で、5年間で32.1%増加している。青梅市全体の保護率2.17%(30年11月福祉行政統計)に対し、外国人の保護率は5.64%(1月末現在)である。福生市では1.48%である。また、生活保護の手続きに違いはない。
② 家賃の安さ、また空室が多く物件を見つけやすいことが考えられる。日本人の夫との離別により母子家庭となり、生活困窮となったケースが多い。
③ 生活福祉課の就労支援を通じてハローワークと連携し、就労支援を行っている。今後も雇用の拡大に向け、努力していく。日本人に比べ保護率が高いこと、福生市に比べ大幅に高い実態を踏まえ、要因をさらに分析するなど、保護率の低下に努める。

役割、効果等への認識を伺う。
② 市の避難所に、特設公衆電話を設置すべきではないか。
③ 特設公衆電話を防災計画に位置付けていく必要があるのでは。
市長 ① 災害時の通信手段の早期確保、被災者の混乱や不安軽減において重要な役割を担うものと捉えている。
② 現在は、発災後にNTT東日本が設置する特設公衆電話の活用を想定している。事前配備には電話専用の配管や端子盤の工事等を行う必要がある。設置に当たっての課題として捉えている。効率的な整備方法について、NTT東日本とも協議していきたい。
③ 整備モデルとして文化交流センターへの設置を予定している。管理運用体制や費用の把握など、地域防災計画への位置づけを含め、課題整理に努めていく。

事前配備の災害時特設公衆電話(特設公衆電話)の設置について問う
議員 ① 特設公衆電話が果たす



小中学校のプール施設について問う ～プール授業とプール施設の今後のあり方～

阿部 悦博 議員 (自民)

議員 ①市内小・中学校プールの年間維持費、今後の修繕、改修費の見込みを伺う。
②今議会で示された、第七中学校のプール授業の詳細を伺う。
③管理費等削減のため、学校プールを減らし、近隣校との共有化や、東原等の市民プールを屋内プールに近い環境に整備し使用する事を考えてはどうか。
④今後のプール授業、プール施設について市のビジョンを伺う。
教育長 ①学校プールは全28面で、年間維持管理費は約150

0万円、修繕費、改修工事費は約1000万円、全面改修工事では約18億円必要になる。
②修繕費と委託の経費を比較検討した結果、民間スイングスクールへ委託することとした。
③共用化や民間委託化等の施策を計画的に検討する。市民プールの環境整備は全面改修が必要なため難しい。既存の市民プールの活用について研究していく。
④計画的、段階的にプールを減らす方策が必要だと捉えている。また、民間委託化により、授業の質の向上や教員の負担軽減等の効果も期待できる。今後のあり方について検討していく。



③現状の公共施設でのスケートボード等の利用の可否を伺う。
④公園の一部や体育施設、学校開放等での利用や使用ルールの緩和を検討、研究してはどうか。
市長 ①オリンピックへの気運醸成が図られたと考えている。
②わかぐさ公園等では安全面でのトラブルが発生し、市に苦情が寄せられることもある。
③小・中学校校内では原則禁止公園では、BMXは制限、スケートボード等は禁止していないが、安全のため注意看板等を設置している。その他の施設は、特に禁止していないが、状況に応じてやめていただいている。
④スペースや安全確保等さまざまな課題があるが、具体的な利用場所について検討していく。

青梅市が考えるエクストリームスポーツの普及と発展について問う

議員 ①青梅エクストリームスポーツウィークの評価は。
②エクストリームスポーツの利用者と一般利用者との公園でのトラブルや苦情はあったか。
市長 ①青梅エクストリームスポーツウィークの評価は、利用者と一般利用者との公園でのトラブルや苦情はあったか。

フレイル予防の推進を 山内 公美子 議員 (公明)

議員 ①フレイルの概念に基づき、市ではどのような取り組みがなされているか。
②フレイル予防の観点から新たな事業の推進を図ってはどうか。
③介護予防リーダーの活動状況と課題、高齢者の集うサロンの設置について伺う。
④高齢者クラブの会計報告の簡略化が必要ではないか。
⑤介護ボランティアポイント制

度の導入について見解を伺う。
市長 ①梅っこ体操の普及や介護予防教室等を実施している。
②フレイルサポーターの養成、導入等について研究していく。
③現在、リーダー主体の21の自主グループが梅っこ体操等の活動を行い、300人以上が参加している。活動場所の確保等が課題と捉えている。市民主体の通いの場の創設を進めており、サロンの設置も推進していく。
④自動計算できるパソコン用フォームを作成し、配布した。
⑤ニーズの把握を行うとともに、介護保険運営委員会で協議いただく等、導入に向けて取り組みを加速化していく。

不育症と不妊症について問う

議員 ①東京都の不妊治療助成制度拡大の内容について伺う。
②不育症に関する相談等はあつ

たか。また、流産を理由に出産にいたらなかった方の人数は。
③市ではどのように不育症の周知啓発を行っているか。
④不育症の治療費助成制度について市の考えを伺う。
⑤不育症の治療で救える命がある。市の見解を伺う。
市長 ①助成事業の所得要件である、夫婦の前年所得合計額上限を905万円に引き上げ、所得制限の緩和を図るものである。
②相談は確認できていない。28年度22人、29年度25人である。
③東京都の相談窓口である不育・不妊ホットラインを市のホームページで紹介している。
④導入自治体の現状等情報収集に努めるとともに、導入について研究していく。
副市長 ⑤まず市ができることは、不育症の周知、都の相談窓口の紹介等だと考える。助成制

SDGsの取り組みについて問う ～子育て、教育、女性、森林等について～

湖城 宣子 議員 (公明)

議員 ①SDGsの取り組みに関して、市の考え方と取り組みの現状について伺う。
②SDGs実施方針の中から、「女性の活躍推進」、「次世代の教育振興」、「子どもの安全」に係る市の取り組みを伺う。
③今後の市長の意気込みを伺う。
市長 ①SDGsの推進は必要かつ有益である。また、本市の事業には、SDGsの目標に合致したものも多いと捉えている。しかし、整理できていない現状もあるため、先進事例の収集に

度課題と捉えている。
高年齢者肺炎球菌ワクチンについて問う
議員 ①市のワクチン接種率と周知方法、今後の対応を伺う。
②これまでの周知方法では限界ではないか。コールコール等、さらなる取り組みが必要では。市長 ①接種率は、例年40%程度である。対象者に予診票を郵送し、その他に、広報おうめや医療機関等で周知している。また、回覧板等で再勧奨も行って



取り組んでいるところである。
②「女性の活躍推進」ではセミナー等の開催、「子どもの安全」では児童虐待防止対策のため、31年度から保健師や子育て支援ワーカーを増員し子ども家庭支援センターの体制強化を図る等取り組んでいる。
③総合長期計画の推進に当たり、SDGsの誰一人取り残さないという基本的な考えを関係者と共有し、共通基盤を築きながら本市に合った活用方策について研究していく。
教育長 ②サテークラス等の取り組みを行い、地域的な事情や経済事情に関わらず学習できるような環境を整えている。

東青梅駅のエレベーターの設置とホームの延長等について問う

みねざき 拓実 議員 (共産)

議員 ①東青梅駅北口へ1日も早くエレベーター設置が必要である。平成35(2023)年に予定されているグリーン車導入に伴うホーム延長に合わせて駅舎を建て替え、エレベーターを設置することだったが、進捗状況について伺う。
②建て替えまでには長い時間がかかる。既存駅舎が建築基準法の基準を満たしているか確認し、早期にエレベーターを設置すべきではないか。
市長 ①31年度に駅舎建て替えのための調査・設計を実施することとなった。今後もJRと協議を進めていく。
②エレベーターを既存駅舎に接続させる場合、駅舎の耐震性、耐火性等が現在の建築基準法の基準を満たす必要がある。JRでは、既存駅舎は建築基準法に適合しておらず、大規模な改修工事が必要とのことであった。エレベーターの設置は、既存駅舎ではなく駅舎の建て替え計画の中で検討していく。

東青梅市民センターについて問う

議員 ①災害時の東青梅市民センターの場所的優位性についてどのように考えているか。
②現在の東青梅市民センターの

議員 ①体育館にエアコンを設置する考えはあるか。
②エアコン設置に向けての都の補助の内容、期間について伺う。
③今後の取り組みを伺う。
教育長 ①児童・生徒の健康を保持する有効な手段として、必要性は認識している。
②東京都では都内公立学校の体育館等において良好な教育環境の確保や災害時の避難場所における良好な環境の確保を目的として、空調機器設置工事に要する経費の補助事業を新設している。対象は平成33(2021)年度末までに完了する事業である。
③小・中学校のトイレの改修、遅れている特別教室へのエアコン設置を、優先事項と捉えている。今後、青梅市総合体育館へのエアコン設置を行った後に、実績を精査、検証していく中で、市長部局とも連携し、学校体育館へのエアコン設置についても取り組んでいく。

施政方針演説を聴取して 一公共施設、子育て、高齢者福祉問題を中心に問う一

藤野 ひろえ 議員 (共産)

議員 ①身近な地域の子どもの居場所について伺う。
②保健福祉センター廃止後、利用者はどうすればよいか。
③高齢者の交通対策としてデマンドタクシー等を検討してはどうか。
④市民意見聴取の考え方について伺う。
市長 ①市民センターで、子育て支援事業を実施するとともに、保育園で子育てひろば事業を実施しており、身近な地域に子どもが利用しやすい場所があると認識している。
②梅っこ体操の普及や地域住民による支え合いの活動の場の創設に努め、また、高齢者温泉保養施設の拡充を図っていく。
③選択肢の一つと捉えている。公共交通空白地域対策については、青梅市公共交通協議会の中で協議し、取り組んでいる。
④市民意見の聴取は、意見を市政に反映させるとともに、市民

参加の促進を図るため実施している。特定の意見だけに偏らないよう、声なき声にも十分留意して進めている。いただいた意見等については、各委員会等で協議し、総合的に判断している。
市民と地域経済を守るために、消費税増税はストップの声を
議員 ①市民の暮らし、地域経済の状況をどう認識しているか。
②10%増税されたら、市財政と公共料金への影響はどうか。
③消費税増税をやめるよう国へ求めていただきたいがどうか。
市長 ①景気回復に期待感はあるものの、未だ回復の途上にあると認識している。
②29年度では、歳出では消費税相当額は約7億円、歳入では地方消費税交付金が約29億円である。10%の影響は、31年度の歳出では約9000万円の増額、歳入の地方消費税交付金は変わらない見込みである。公共料金は、消費税率と連動し増額するものもあるが、31年度において使用料、手数料の改定の予定はない。
③中止を求める考えはない。病院事業管理者 ②医薬品購入等にかかる支出増は診療報酬の増により補てんされる。患者の一部負担は増加するが、高額療養費制度もあり、大きな負担増にはならない見込みである。

耐用年数、年間の維持費は。
③現在地での建て替えに反対する声はあったのか。
④現在地で東青梅市民センターを存続して欲しいと考えるが。
市長 ①市民センターは市民活動の拠点等さまざまな役割があり、利用される方や目的により立地の考えは異なるかと捉えている。また、避難場所については災害の状況に応じ、安全な場所へ避難していただきたい。
②耐用年数については、老朽化

の進行や予防保全の実施状況によって大きく異なるため、把握できない。維持費は、29年度決算において減価償却費等も含め、約4549万円である。
③現在地での建て替えは検討していないため、意見聴取は行ってない。
④東青梅1丁目地内諸事業用地に移転し、機能充実を図る手法が、現状でセンターが抱える課題を解決する最も望ましい方法であるとの考えに変わりはない。

林業振興について問う
ドローンレーザーによる
精密な森林計測を

田中 瑞穂 議員 (市民)

議員 ①森林環境整備のこれま
での取り組みと課題を伺う。
②ドローンやICTを活用した
森林計測についての見解を伺う。
③自伐型林業を推進すべきでは
ないか。
④木材の活用・販路拡大に向け
外に向けた取り組みが必要では
青梅の木材をアピールするチャ
ンスと考えるがどうか。

②境界が明確でない森林が多く、
ドローンで測量した図面と過去
の図面等との照合や、現地調査
により、誤伐防止に努めている
とのことである。現段階ではド
ローン測量のみの実施は困難で
あると認識している。
③NPO法人の若手を中心とし
て活動が始められている。市で
は新たな林業就業者に対し、資
金融資を行っている。環境整備
について引き続き検討していく。
④林野庁の地域内エコシステム
実現可能性調査に採択された。
間伐された未利用残置材を活用
する地産地消のシステムの構築
を検討している。

都立誠明学園敷地内への
都立文化施設建設促進を
議員

議員 ①現状と今後の見通しに
ついて伺う。
②東京都は比較的豊かな財政力
であるにも関わらず、財政状況
を理由に建設が進まないのはお
かしいのでは。

風の子・太陽の子広場の
活用について問う
片谷 洋夫 議員 (国民)



風の子・太陽の子広場キャンプ場。

議員 ①風の子太陽の子広場と
永山公園、青梅の森との一体的
な活用の具体的な内容を伺う。
②近年、再びキャンプが流行し
ている。キャンプ場の現在の利
用状況を伺う。また、積極的に
宣伝し、利用拡大を考えては

③民間活力の導入や指定管理者
制度の導入を検討してはどうか。
市長 ①立地特性を生かし、自
然に親しみ、ふれあえる憩いの
場、レクリエーションの場とし

て活用していく。車の駐車スぺ
ースの確保や案内板の準備を進め
ている。
②29年度の利用回数は51回であ
った。利用者拡大のため、キャ
ンプ場を6カ月前から予約でき
るようにする予定である。広報
等によるPRも行っていく。
③市内には様々な形態の公園が
数多くあり、指定管理や民間の
活力の導入については課題と捉
えている。風の子太陽の子広場

有料広告の取り組み
について問う
議員

議員 ①青梅市の有料広告の現
状、課題、収入について伺う。
②ごみの指定収集袋や庁用車へ
の広告掲載を行ってはどうか。

市長 ①30年度の収入は、市ホ
ームページのバナー広告193
万6000円、広報おうめ36万
円、青梅市カレンダー38万円を
見込んでいる。広告収入額は特
定の広告掲載主への依存傾向も
あり、年度によって差がある。
新たな広告掲載主獲得のため、
周知方法の工夫、各媒体の魅力
の向上が課題と捉えている。
②指定収集袋は日々目にするも
ので広告掲載するメリットは
あるが、経費や広告主の確保等
の課題もある。先進事例を参考
に検討していく。庁用車への掲

不登校の子どもを
支える取り組みを
議員

議員 ①29年度の不登校の児童
・生徒数、ふれあい学級の通級
者数を伺う。
②適応指導教室から教育支援セ
ンターへ改称すべきではないか

定は必要なのではないか。
教育長 ①不登校は小学生52人、
中学生170人、通級者は小学
生5人、中学生23人である。
②ふれあい学級の名称が長く親
しまれているため現状では考え
ていないが、検討していく。
③ふれあい学級は学校復帰を目
指しているため、標準服、ラン
ドセルを原則としている。しか
し、より多くの児童・生徒が、
通えるよう、柔軟な対応等につ
いても、今後適応指導教室長と
よく協議し、検討していく。
④「その他の質問：人工呼吸器が
必要な患者さんに発電機の無償
提供を」

買い物弱者対策について問う
議員

議員 ①移動販売の現状、青梅
市の支援について伺う。
②移動販売営業の際の支援策は、
③市はどのように買い物環境の
さらなる向上を図っていくのか。

市長 ①29年10月より株式会社
ローンが成木地区において開
始した。現在週1日12カ所で行
っており、好評を得ている。市
の支援としては、ローンとの
協定に基づき、地域の選定、販
売場所の確保等を行っている。
②おうち創業支援センタービギ
ンにおいて、業種を問わず、個
別相談等を受けることができる。
また、商店街と連携して移動販
売を行う場合には東京都の商店
街チャレンジ戦略支援事業の補
助金を受けられる。
③移動販売の販売場所の見直し、
新たな地域での検討等、利便性
の向上を図っていく。また、商
工会議所や民間事業者等と連携
し、事業を展開していく。

公共下水道御岳山事業区域
について問う
ひだ 紀子 議員 (みどり)

議員 ①公共下水道連絡管の設
置工事において、ある地権者か
ら、連絡なしに自分の土地に基
準点の杭が設置されているとい
う話があった。どういうことか。
公共工事の基本である測量を市
はやらなかつたのか。
②別のルートでもう1本連絡管
を引く案を検討中とのことだが、
莫大なる費用がかかる。どうし
て着手前に検討しなかつたのか。
市設置型合併浄化槽で整備した
場合の比較検討もすべきでは。

福祉系の専門性を
持つ職員の採用を
議員

議員 ①市の福祉業務には専門
的な知識や経験を持つ職員が必
要だと考える。社会福祉士等の
採用について伺う。
②虐待通報を受けた場合、どう
か。
③虐待通報を受けた場合、どう
か。
④虐待通報を受けた場合、どう
か。

市長 ①生活困窮者自立相談支
援員等社会福祉士等を嘱託職
員として任用、正規職員でも福
祉・介護の所管課で保健師、介
護福祉士等を任用している。
副市長 ②青梅市の規模では、
専門職を配置する部署も限られ
ているため、別の職務に配置せ
ざるを得なくなる可能性がある。
現状では採用は考えていない。
③福祉専門職の採用ではないが、
一般事務の中で、福祉の勉強を
してきた職員や福祉業務を希望
する職員を最大限生かしていく。

新たな形で実施された職員
採用試験について問う
議員

議員 ①新しい採用試験の結果
をどう捉えているか。
②市内在任と市外在任の合格率
に差がある年度がある。なぜか。
③採用には首長の裁量が入らな
いようにすべきではないか。
④人材をつなぎとめることにつ
いてどう考えているか。



市議会の4年間
第17期の市議会議員の任期は、平成27年5月1日に始
まり、平成31年4月30日をもって満了となります。
今期の市議会の4年間には、主に次のような動きがあ
りました。

Table with 4 columns: Year (e.g., [27年]), Topic (e.g., 一般会社), and Description of activities.

青梅市の公共建築物等への多摩産材の利用について問う

山田 敏夫 議員 (自民)

議員 ①青梅市の公共建築物等への多摩産材の利用に対する考え方を伺う。

②建築材料以外での利用の方策の検討、活用はされているか。

③青梅市では、公共建築物の木材利用の促進を図るための連絡会等は設置されているか。

④多摩産材や青梅市産材の利用促進のために数値的な基準を設けてはどうか。

市長 ①青梅市公共建築物等における多摩産材利用推進方針について、活用はされているか。

より、市の公共建築物の整備の際には、関係法令や予算を勘案しながら積極的に多摩産材を使用している。公共性のあるその他の施設についても、木材の利用促進について事業者の努力義務があり、保育園の改築等では積極的に多摩産材が利用されていると捉えている。

②庁舎内では2階の行政情報コーナーの机やベンチ等を使用。青梅の森等では、伐採した樹木を階段や手すり、ベンチ等に使用している。現在建設中の文化交流センターでは、1階カフェコーナーや2階キッズコーナーで、多くの造作家具が多摩産材のヒノキ材を使用する。

③関係各課で協議し、需要調査を行っている。また、多摩産材情報センターと連携し、使用実例を掲載するなど、市民への普及、PR活動も行っている。

④改修内容や用途によって使用量が異なることから、数値と上部空間を活用し、部分的な歩道拡幅の検討を開始した。根ヶ敷は市が管理しており、西多摩建設事務所からの協議に対し積極的に協力していく。秋川街道では一部整備が完了したが残りの区間については用地取得を進めている状況である。早期整備を西多摩建設事務所引き続き要請していく。

道路交通と安全確保について問う

鴻井 伸二 議員 (公明)

議員 ①成木街道の通学路、秋川街道等の歩道拡幅整備の状況と市の取り組みについて伺う。

②道路の速度規制が実現に即していない。見直しが必要ではないか。

③バス停の屋根、ベンチ設置の現状と今後の拡充について伺う。

市長 ①成木街道では歩道拡幅整備の必要性は認識しているが、用地取得が課題である。西多摩建設事務所では、31年度当該道路の一部接している根ヶ敷川

して基準化することは難しいが、今後も積極的に使用していく。

び等、課題は残るが、全ての年度で実収支を黒字とすることができ、総じて的確な財政運営を行えた認識している。

②自主財源の安定確保や国の補助制度活用による歳入の確保、効果的な事業の選択等による歳出削減に取り組んだ結果、想定した財源不足は徐々に縮小している。今後も持続可能な財政運営に取り組みたい。

③歳出については、公共施設の再編や事業の再編等による経費削減、歳入においては青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備の取り組みが、税源のかん養となると認識している。

議員 ①第6次青梅市総合長期計画で示した25年度から29年度の財政の見通しの結果について、課題と現状認識を伺う。

②総合長期計画の改定版で示された、29年度から34年度までの財政見通しの87億円の財政不足をどうするか。

③経費対策、収入対策の具体的な取り組みについて伺う。

市長 ①社会保障関連経費の伸環境税の概算を伺う。

②森林経営管理法による森林バンク制度の導入、不明所有者の調査や意向調査等が必要である。

③譲与税を森林バンクの推進や青梅の森の整備・管理、青梅産材の普及等に活用してはどうか。

市長 ①市への交付額は約1334万円、市民の負担は総額約6700万円と試算している。31年度以降調査を始める予定である。森林バンク制度の導入は青梅市森林整備推進協議会等で協議する。

③活用について検討していく。

青梅市の財政見通しについて問う

大勢待 利明 議員 (フォーラム)

青梅市の「特別支援教室」の現状と課題について問う

議員 ①特別支援教室の設置、開始による現状と課題を伺う。

②特別支援教室の教員の指導力向上についての工夫を伺う。

③特別支援教室と特別支援学校との連携について伺う。

教育長 ①小学校は全校に設置済み、中学校は31年度から2年間で全校に設置する計画である。

市長 ①国に対し、十分な説明責任を果たすとともに、安全対策の徹底と環境への配慮等を米

国に働きかけるよう要請してきた。平成36(2024)年ごろまでに10機のオスプレイを配備するとの情報提供を受けている。

今後、さまざまな問題が発生する可能性がある。あきる野市の出町と情報共有を行い、連携し対応することを確認した。

②現在、東京都市長会を通じて、航空機騒音調査および騒音対策の充実等について要望している。③市長会を通じて要望していくとともに、あきる野市、日の出町とも協議していく。

「他の質問：防災・減災対策等について問う、小中学校のジェンダー問題について問う」

在籍校で指導が受けられるようになり、児童、保護者から好評である。希望者も増えている。課題としては、教室や教材の確保、教員の指導力向上等がある。

②担任会等を実施し、特別支援学校教員による研修等を行っている。また、近隣市町と連携して実施している特別支援教育理解研修や東京都教職員研修センターの研修への参加により、専門性が高められるよう努めている。

③都立青峰学園や都立羽村特別支援学校との連携を図っている。また、第二中学校が都の特別支援学校の専門性向上事業の指定を受け、羽村特別支援学校の教員から指導方法や指導計画の作成等について指導を受けている。

花粉の少ない森づくりの推進について問う

山本 佳昭 議員 (自民)

議員 ①花粉の少ないスギや広葉樹の植栽の実績、市内全ての森林に植栽する場合何年要するかの見込みを伺う。

②林業や商業・観光事業者、東京都、農林水産振興財団、自治会役員、市民、学識経験者等により「花粉の少ない森づくり・季節の移ろいを楽しめる森づくり委員会」を設置し、積極的な花粉対策をアピールしては。

③市が森林所有者に対し、スギ花粉の少ない森づくりへの協力を要請するべきでは。

市長 ①過去5年間で合計約60ヘクタール実施されているが、所有者の特定が困難な森林の増加や、事業対象地が木材搬出困難な奥山となつていてことから、減少傾向である。全てを植栽するには数十年は要すると思われる。

②事業を協議する場として今後の検討課題と考える。③広報やホームページで森林再生事業の周知を行っている。適切な時期を捉えてより効果的な周知を行い、都と連携して森林所有者に協力を要請し、事業量の拡大に努めていく。

青梅市健康センター内・休日診療所に、ネット診療受付の導入を

議員 ①ネット診療受付を導入してはどうか。

②インフルエンザ患者と一般の患者の待合室を分けるよう、工夫が必要ではないか。

市長 ①休日診療所は初期救急医療機関であり、急な発熱等により医療機関の診療時間内に受診できない場合に受診するため、インターネットによる診療受付は馴染まないかと考える。

②隔離用のスペースを確保することは難しい状況だが、工夫する余地がないか研究していく。現在の待合スペースでは、パーティションで区切るなどして、待合環境の向上に努めていく。

③青梅市公共施設等総合管理計画を策定

▽青梅市民会館が閉館

5月▽新地方公会計制度を導入

6月▽総合病院代替特別委員会

および東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会を設置

9月▽災害対応訓練(台風災害)を実施

市としては、早期整備完了を西多摩建設事務所へ要望していく。

②裏宿町から主要地方道53号青梅・秩父線、通称青梅坂通りに至る約70メートルを完了している。今後は、青梅坂通りから青梅駅までの区間について、

員報酬等の特例に関する条例を制定



再植栽された梅

10月▽ウメ輪紋ウイルスに対する強化対策の結果、一部地域で梅の再植栽が条件付きで認可

12月▽青梅市総合長期計画基本構想・基本計画の改訂について可決

1月▽青梅市立総合病院の建てかえに関する基本計画の策定について可決

2月▽総合病院代替特別委員会と公共施設再編特別委員会は調査終了

3月▽青梅市立総合病院の建てかえに関する基本計画の策定

4月▽新地方公会計制度を導入

5月▽正副議長選挙等を含む議会人事

6月▽青梅市議会の議決すべき事件に東青梅1丁目地内諸事業用地等の利活用に関する構想を追加

7月▽青梅市公共施設等総合管理計画を策定

8月▽青梅市民会館が閉館

▽市立総合病院で外来受診時の乳幼児一時預かりを開始

3月▽青梅市国民健康保険条例の一部を改正する条例を修正議決

4月▽東青梅1丁目地内諸事業用地等の利活用に関する構想の策定について可決

5月▽議員研修会「タブレット研修」を開催

6月▽災害対応訓練(地震災害)を実施

7月▽青梅市立総合病院新病院基本設計が完了

8月▽青梅市情報公開条例(全部改正)を可決

9月▽青梅市文化センター条例を可決

10月▽市民自治青梅が会派の届け出

▽子育てアプリ「ゆめうめちゃんの子育て・予防接種ナビ」サービス開始

12月▽青梅市墓地公園条例(全部改正)を可決

1月▽青梅市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例を可決

2月▽青梅市文化センター(文化交流センター)落成

3月▽青梅市立総合病院新病院基本設計が完了



青梅市議会災害対応訓練

審議された議案と議決結果

賛否が分かれた議案

[○…賛成、×…反対、欠…欠席]

区分	議案番号	議案件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	賛成	反対
市長提出議案	議76	平成31年度青梅市一般会計予算	可決	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	4
	議77	平成31年度青梅市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
	議78	平成31年度青梅市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	1
	議79	平成31年度青梅市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
	議80	平成31年度青梅市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
	議81	平成31年度青梅市モーターボート競走事業会計予算	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
	議83	平成30年度青梅市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	4
	議95	青梅市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3
	議97	都市計画道路3・5・5号線等改修工事に伴う補償代行工事にかかる契約の締結について	可決	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	4
	議108	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	20

議長(表決には加わりません)

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属9人、自民党2人)、公明…公明党(5人)、改フ…改革フォーラム(無所属3人、国民民主党1人)、共産…日本共産党青梅市議団(2人)、みどり…みどりのオリーブズマン(1人)、市民…市民自治青梅(1人)]
 ※氏名の上の番号は、議席番号です。
 ※下田議員の欠席は通院のため

全会一致で可決または同意された議案

区分	議案番号	議案件名	議案番号	議案件名
市長提出議案	議82	平成31年度青梅市病院事業会計予算	議94	青梅市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例
	議84	平成30年度青梅市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	議96	青梅市いじめの防止に関する条例の一部を改正する条例
	議85	平成30年度青梅市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	議98	青梅市公共下水道(汚水)小曾木事業区域整備事業業務委託にかかる契約の変更に ついて
	議86	平成30年度青梅市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	議99	反訴の提起について
	議87	平成30年度青梅市介護保険特別会計補正予算(第2号)	議100・101	市道路線の廃止について
	議88	平成30年度青梅市モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)	議102・103・104・105・106	市道路線の認定について
	議89	平成30年度青梅市病院事業会計補正予算(第1号)	議107	青梅市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	議90	青梅市児童育成手当条例の一部を改正する条例	議109	青梅市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
	議91	青梅市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正 する条例		
	議92	青梅市介護保険条例の一部を改正する条例		
	議93	青梅市融資資金利子補給条例の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例の一部 を改正する条例	委員会 提出議案	委2

陳情結果の

陳情結果

■ケミコン跡地利活用構想の市民ホールに関する陳情
 *審議結果:趣旨採択

■青梅市議会は二元代表制を擁護維持で安心する市民生活が行われるよう求める陳情
 *審議結果:不採択

■公共施設再編に伴う高齢者センター及び保健福祉センター(小曾木・沢井)の3施設の2021年までの存続に関する陳情
 *審議結果:不採択

■「青梅市議会憲章」策定の陳情
 *審議結果:趣旨採択

■青梅市内の文化環境保全に関する陳情
 *審議結果:趣旨採択

■アスベスト被害者補償基金制度の創設と全面解決を国に働きかける意見書提出を求める陳情
 *審議結果:趣旨採択

■介護保険制度の改善を求める意見書の提出に関する陳情
 *審議結果:不採択

■後期高齢者医療の一部負担金の割合を引き上げないよう求める意見書の提出に関する陳情
 *審議結果:不採択

■果沢採石場跡地土壌汚染問題の真相究明を求める陳情
 *審議結果:不採択

■審議結果:不採択

■東青梅ケミコン跡地に建設予定の市民ホールに関する陳情
 *審議結果:趣旨採択

全員協議会から

3月5日に開催された全員協議会での提出事項は次のとおりです。

市長提出事項

- 大型連休の対応について
- 平成31年度国民健康保険税および後期高齢者医療保険料の軽減判定所得等の見直しについて
- 平成31年度税制改正の主な内容について
- 粗大ごみの運び出しサービスの実施について
- 青梅市自殺総合対策計画(素案)について
- 路線バスのダイヤ改正について
- 青梅市総合体育館ネーミングライツ・パートナーについて
- 今後の学校給食について
- 文化交流センター開館にかかる今後の日程について
- 青梅市立総合病院を当事者とした訴訟事件の概況について

議長提出事項

- 今後の西多摩衛生組合運営の方向性に関する検討結果及び事業計画について

平成31年4月臨時議会が行われました

4月10日に4月臨時議会が行われました。2件の市長提出議案は、所管の常任委員会へ付託され審査された後、本会議で委員長報告が行われ、その後、原案どおり可決されました。

市長提出議案

- 「青梅市市税条例の一部を改正する条例」
- 「青梅市介護保険条例の一部を改正する条例」



*審議結果:趣旨採択

*各議案の内容、審議・審査の状況、各議員の表決結果等は市議会ホームページをご覧ください。

市議会ホームページのURLを変更しました

市議会ホームページは、ドメインサーバの廃止によりURLが変わりました。

新URL : <https://www.gikai-omecity.tokyo/>

旧URLのホームページにアクセスしても5月31日までは自動的に移動しますが、旧URLでお気に入り(ブックマーク)登録をしている場合は、新URLのホームページに登録しなおしてください。

会議録検索システムが見やすくなりました

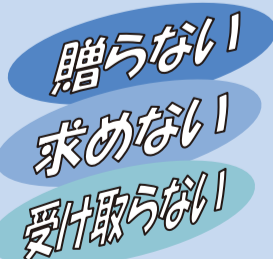
会議録検索システムは、バージョンアップによりURLが変わりました。

新URL : <http://ssp.kaigiroku.net/tenant/ome/pg/index.html>

バージョンアップされた会議録検索システムは、パソコン版、携帯端末版を選べるようになり操作性、検索スピードがアップしました。会議録検索システムについても、旧URLでお気に入り(ブックマーク)登録をしている場合は、新URLのページに登録しなおしてください。

政治家、有権者の方々へ

政治家が、選挙区内の人にお金や物を贈ることは法律で禁止されています。また、有権者が政治家に寄付を求めることも禁止されています。



例えば▼地域の行事やスポーツ大会、自治会の集会・盆踊りや旅行などの催し物へのお祝いや飲食物の差し入れ▼お祭りへの寄付や差し入れなど。

今後の議会開催予定

今期の議員の任期は、平成31年4月30日をもって満了します。

通常、5月に招集議会、6月に定例議会が開催されますが、現時点ではその予定が決まっていません。

今後、議会の開催予定が決まりましたら、青梅市議会ホームページでお知らせいたします。

青梅市議会 会議録検索システム

パソコン版
パソコンで閲覧するのに適しています。
*スマートデバイスでも閲覧することができます。

スマートデバイス版
スマートデバイス(スマートフォン・タブレット)での利用に適しています。
*パソコンでも閲覧することができます。